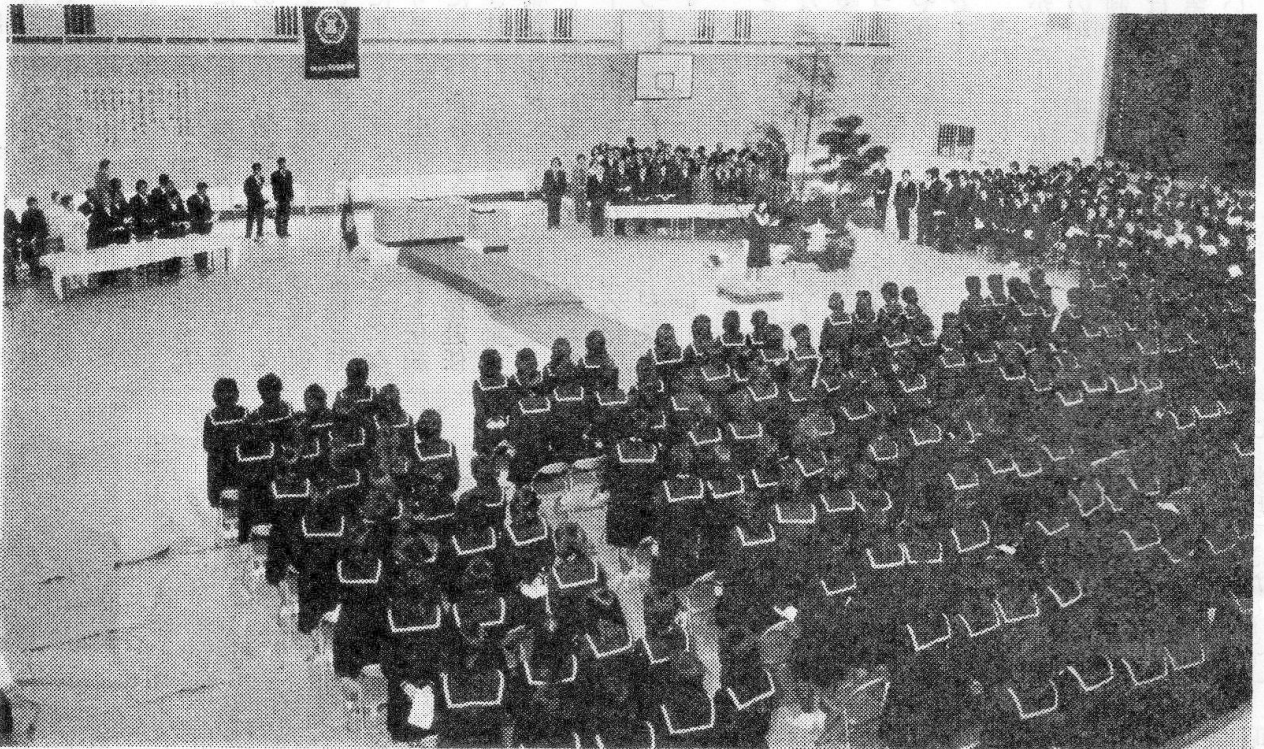


# 占 春 会 報

## 第 12 号

発行 八尾市大字千塚102  
占春会事務局

大阪府立清友高等学校  
TEL (0729) 41局3456



女生徒最後の卒業式

会報12号に寄せて

占春会長 河合 隼 子

会員の皆様お元気ですか。この会報が皆様の手許にとどく頃は、山々は緑豊かに一年の中で一番良い季節になっていることでしょう。母校清友も府立高校三年目を迎え、多くの方々のおかげで支えと、諸先生方のご指導のもと、しっかりと足取りで歩んでおります。四十年歴史の積み重ねは、今年度の進学者一覧表をみても分かるように、定員オーバーという数字が物語っていました。

今年で最後の女生徒ばかりの卒業式が挙行されました。戦後よりずっとみなれて来たセーラー姿の制服も、もうみられなくなりません。同窓会は最後まで、制服を变える事には反対して列席して、そういう意味でも感無量でした。

さて、今年又大きなニュース、小西校長先生が、ご栄転で学校を去られました。24年間清友で教鞭をとられ、教頭先生から校長先生へと、府立移管問題が起り、運動の最中、富田校長先生よりバトンタッチされ、校名、校章、校歌、制服を残す事、それは新設校ではないというのが同窓会側の意向で板狭みとなられ、随分苦労された事と申します。校舎もすっかり完成されました。永い間御苦労様でございました。先生方の残された足跡ほ大きいと思います。

後任として、佐古校長がご着任されましたが、伝統ある母校を更に飛躍発展させて下さることであらうと、期待しております。

会員の皆様も、母校清友の発展のため、より一層のご協力と、ご後援下さいますようお願い致します。最後に皆様の、ご健康と、ご多幸を祈念致しまして、ご挨拶といたします。

### 56年度 総会のご案内

新入会員 歓迎 総会御案内  
六月七日(日) 午後一時

一部 総会

校長挨拶  
会長挨拶

56年卒新入会員挨拶  
新役員紹介

55年度決算報告  
事業報告

一部

完成された新校舎見学  
年次毎の同窓会

### 新任校長

## 御挨拶

学校長 佐古 広衛

同窓会の皆様お元気でご活躍の事と存じます。今般前校長小西先生のあとを受けまして本校校長として赴任いたしました佐古でございます。直接お目にかかって親しくご挨拶いたすべきですが、それも不可能でございますので紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は昭和二十二年に学校を卒業し、すぐに旧制市岡中学に一年、港高校（旧制市岡高女）に二十八年生物の教員として勤務して参りました。本校に赴任する前は布施高校に五年教頭として勤務いたしました。時代と共に生徒の気質には若干の変化は見られますが、生徒達の純粋さは今も昔も変わらないと思います。教育行政の側面が強い校長という仕事ではありませんが、何時も生徒と共にという教育の原点を忘れないようにしたいと思います。

さて本校の府立移管に際しましては前校長小西先生初め関係各位の一方ならぬご苦労があったと聞いております。そのご苦労のあとを受け、そのご努力を無駄にしないよう身のひきしまるような責任を覚えます。清友高校の歴史をひととげば、遠く昭和十六年風光

明媚な河内平野の一角に呱呱の声をあげ、多数の有為の人材を世に送り出してこられました。当時の教育方針を拝見いたしますと、礼儀気品の重視等優しさの中に凛とした学風を諸先生方は目指され、それを実現してこられました。

わが清友高校も本年四月新たに五六四名の新入生ならびに多数の新らしい教職員をお迎えし、ここに文字通り各学年十二学級の府立の完成校とし既設の伝統校と共にスタートラインに並ぶことになりました。旧清友高校の良き伝統に加え、新しく府立移管後赴任されました教職員の方々の新鮮な感覚と情熱に燃えた実践力によって、他の新設校に見られないユニークな学校を先生方と力を合せてつくり上げたいと考えております。

本日も服部川の駅から生徒諸君と一緒に登校いたしました。みな素直な生徒諸君ばかりだとの印象を受けました。あの諸君達の持っている可能性を存分に伸ばしてやりたいものだと思つております。

それには教職員のチームワークがなによりも必要であり、全職員の和を基調とした一致した指導体制のもと、府立清友高校が大きいはばたくことを夢見ています。同窓会の皆様の絶大なご支援をお願い申し上げます。

### 「離任のことば」



元学校長 小西 康弘

季節が移り、新緑もあざやかな暖かい時候となりました。占春会の会員の皆様には、お元気に過ごしていることと存じます。このたび私は教育委員会の人事異動により、大阪府科学教育センターへ研修第二部長として行くことになりました。大阪府立清友高等学校を去ることになりました。思いおこせば、昭和三十三年に清友高校に奉職して以来、いつの間にか二十四年間経過いたしました。その間教頭八年、校長六年勤めました。皆さんのご支援のお蔭で大過なく

日にかけての時間の経過が本当に待遠しく感じたものです。又校名について、困難な状況の中で残すことができたのは、なによりも幸いでした。府で普通科高校多数ある中で、本校だけが、地名を使わないというところは、大きな特色として残りました。清友高校には、なんといいっても、新設校とちがいで、四十年の歴史と伝統があります。このことは、これからも清友の大きな支えになることでしょう。

「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」という句が今や実感として脳裏をよぎります。いつかは、清友高校と別れる日があるとは覚悟していたのですが、いざとなると少なからず心に動揺を覚えました。人間は、出処進退を大切にすべきだと思っております。自分としては、もう少し、清友で頑張りたいという気持ちと、校長として、いつまでも留ることが、清友の発局につながるのかという

気持ちの両面が、いつも交錯して心の片隅にありました。幸い校舎施設が私の在任中に全て完成されました。これからは、それらの施設を、十分に使って、教育の中身をより一層向上させることになりまします。この機会に新しい校長先生の下で、清新の気を吹き込み、学校運営を計られるのは良いことだと思えます。幸い新校長として着任された佐古広衛先生は、教職経

験の非常に豊かな、人格識見ともに優れた立派な先生であります。きつと清友高校は、この新校長先生のもとで、益々発展していくものと確信しています。今度行くことになりました科学教育センターというところは、住吉区の我孫子にあり教員の研修の為の機関であります。新しい職務につきましたが、今後とも微力ながら教育の向上に献身したいと考えています。最後に、占春会の発展と会員皆様のご健康とご多幸をお祈りして、離任のことばといたします。

小西校長先生 さようなら

37年卒 安田 恭子 (片山)

今から二十年前二年間私達の担任となられ、社会も教えていただきました。

先生のお人柄は、石部金吉のような非常に真面目な方でしたが、授業の合間にユーモアたっぷり、奥様とのロマンスを話されたり、又、英語が得意でたまに英語を使われたりされると、よくひやかしたりしたものでした。一人、一人にきめ細やかな指導ぶり、先生のご人徳そのままでした。歳月の過ぎ去るのは早いもので、私達は当時の先生の年令に達しました。清友を去られる事は淋しいことですが、ご栄転ならば仕方がございません。どうぞお元気で頑張ってくださいように。二年毎の級会は、ずっと続けま



教頭 前川 如矢

若葉が萌える気持ちのいい季節になりました。占春会の皆様、お褒りくださいませ。お元気で、ますますご活躍、ご発展のことと存じます。

清友高校も昭和16年の創立以来40年の歴史を積み、本年度昭和56年度は府立高校3年目の完成年度となりました。第3期の増築工事、環境整備も完成し、今年からは恵まれた施設と環境で、お互いの努力により、さらに歴史を重ね、文化を創って行けるようになりました。皆様のご支援を期待しています。

清友の歴史での一大ニュースをお伝えしておかねばなりません。清友高校在任24年、その間教頭8年、校長6年を勤められ、清友と共に歩まれました小西康弘第四代校長先生が、この4月1日付で大阪府科学センター研修第二野長として御栄転になりました。温厚、誠実、的確に御判断くださり、府立移管最初の校長でありました小西前校長先生の後任の五代校長先生としましては、東京高師で生物を専攻され、府立高校在

任34年の経験豊かで、造詣が深く、重厚な佐古広衛校長先生が御着任になりました。小西前校長先生の清友高校への多年に亘る御尽力を深謝し、先生の愈々の御活躍、御清栄を祈念しますと共に新しく佐古校長先生を中心に清友高校のためさらに頑張らねばと心を固めている次第です。

奥田文明先生(英) 府立枚方高校  
丸山真紀先生(国) 府立八尾東高校  
講師藤崎弘史先生(国) 産休講師  
木村恵子先生(国)  
非常勤講師辰巳真一先生(理科) 花本宗嗣先生(英語) が昭56・31付退職されました。

小西 順先生(〇) 関西学院大学卒  
中谷英夫先生(〇) 京都大学卒  
河合伸昭先生(数) 大阪大学大学院卒  
磯野 彰先生(保健) 天理大学卒  
若菜 進先生(英) 関西学院大学卒  
川原田えり子先生(〇) 関西学院大卒  
早野容子先生(〇) 同志社大学卒  
船橋 涉先生(〇) 甲南大学卒  
早川富美子主事(事務) 府立北千里高校より

本年度昭和56年度は各学年12学級で全学年で36学級(普通科高校120校余の中で36学級規模は33校)、生徒数は千600名になりました。来春には第一回の男子卒業生が出ることになり、現在その男子を含めて50余名の進路指導に懸命です。1年生の入試では、志願者数が男子24名、女子105名のオーバード、男女あわせて昨年度よりも60数名多く、清友はやはり女子に人気があり、男女共賞が少しずつ向上して来ています。

昭和55年度末までに学校の全施設、設備が完成しました。

付佐古広衛校長先生府立布施高校  
教頭より

非常勤講師大角賢二先生(社) 古本博子先生(数) 木戸秀樹先生(理) 鎌倉信子先生(理) も着任されました。

堂本雅人先生(書) 日本芸術院  
展覧会にご入選。昭55・10  
岡昌弘先生(音) オペラ公演に  
出演。昭55・9テナー・リサイタルを開かれる。昭55・11  
原田彰先生(生) 論文「アオミドロ属の細胞学的研究」で理学博士の学位を受けられる。昭56・4  
松丸純子先生(国) 長女ご誕生  
東川有美子先生(国) ご結婚。  
改姓前先生。昭56・1  
池上敏一先生(美) ご結婚。昭56・3  
内田健治先生(国) と丸山真紀先生(国) ご結婚。丸山先生改姓内田先生。昭56・3

- 1、プール(正門を入って右側) 昭55・7
- 2、運動場(校舎西側) 昭55・12
- 3、クラブハウス(校舎北側) 〃
- 4、テニスコート、バレーコート(校舎北側) 〃
- 5、占春の園整備 〃
- 6、校舎周辺のフェンス、バスケットネット 〃
- 7、通用門(校舎南西側) 〃
- 8、植樹、環境整備 〃

- 連山栄子先生(国) 府立池島高校より
- 牧 忠史先生(〇) 寝屋川六中より
- 安倍貞人先生(社) 府立泉南高校より
- 田中豊治先生(〇) 府立成城工業高校より
- 中沢 一先生(数) 堺市立第二商業高校より
- 折井亮夫先生(理) 府立花園高校より
- 松本三郎先生(保健) 府立横山高校より
- 石上俊一先生(英) 府立藤井寺工業高校より
- 乙倉恵子先生(国) 関西大学卒
- 松本慶子先生(〇) 大阪府立女子大卒
- 山本定行先生(〇) 大阪市立大学卒
- 吉野精能先生(社) 広島大学大学院卒

- 卒業生数 273名
- 進学者数 121名
- 就職者数 116名
- 進学者数 116名
- 家事、家業3名
- 大学 花園大 帝塚山学院 大 武庫川女子大 梅花女子大等
- 短大 大阪成蹊女子短大 常磐会短大 大阪女子短大 信愛短大 関西外国語短大等
- 住友銀行 三和銀行 大和銀行 松下電産 資生堂 日本生命 三洋電機 美津濃 電々公社等

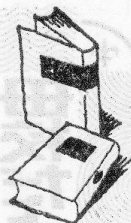
今年行事のお知らせ  
九月十九日(土) 文化祭  
二十日(日)  
九月二十五日(金) 体育祭  
卒業生の方達大勢でお越し下さい。

二、教職員の変動

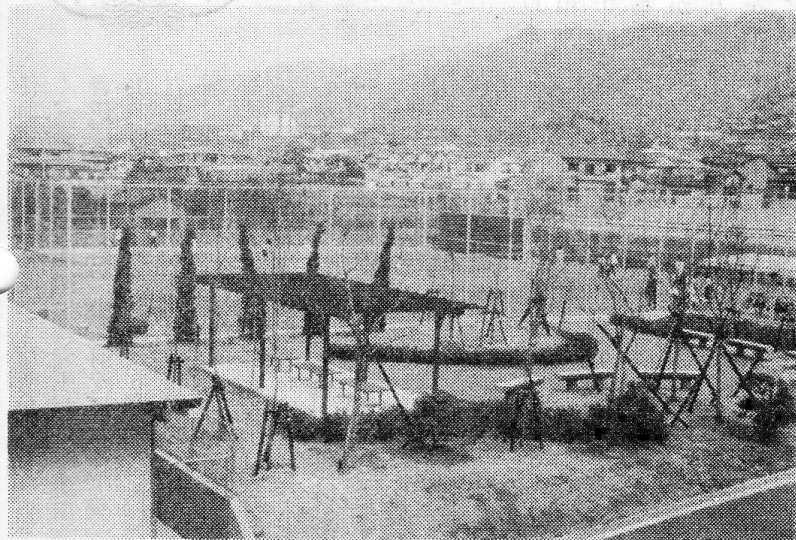
転任 昭56・4・1付  
小西康弘校長先生大阪府科学教育センター研修第二部長へ  
戎谷政昭先生(保健) 府立加納高校へ  
仲 慶謚先生(社) 府立桜塚高校へ  
関谷 学先生(理) 府立金剛点校へ  
菊池健夫先生(数) 府立加納高校

三、昭和55年度卒業生の進路

四、在校生



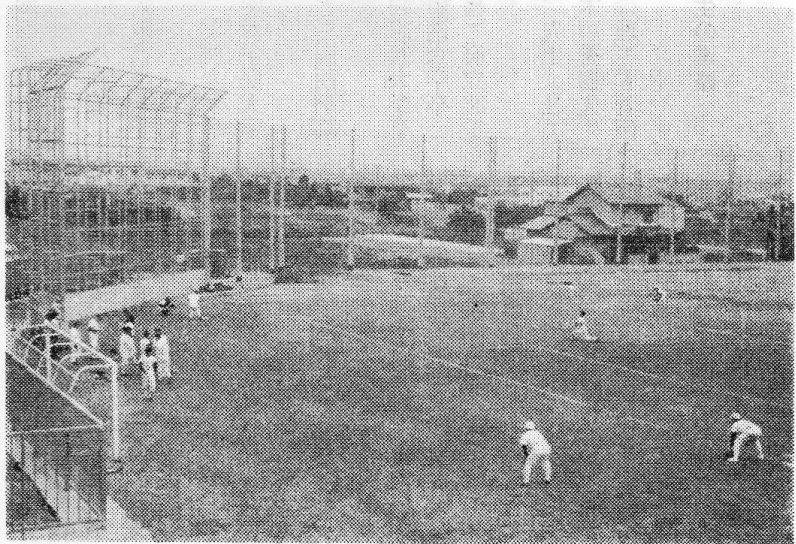
# 占 春 の 園



完成なつた占春の園



男女を混えて生徒会選出風景



男子生徒を迎えて野球創部

## 在校生の活躍

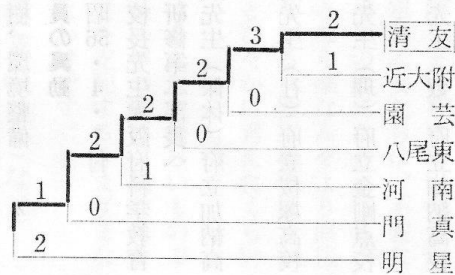
〔女子〕

笠井・白石 4-3 Jan Matuzaki  
・Molly Kealoha

〔男子〕

中谷・塚本 4-0 } Fred ch.  
平野・池田 4-2 } Reid Fukumoto  
山内・高橋 4-1 Steven Westbery.  
Jan Matuda

準決勝で明星に惜敗した。



出場者 (中谷 (塚本 (平野 (池田 (山内 (高橋 (横野 (野田 (吉田

やっと大阪府下でベスト3に入りました。男子では初めてのことでした。もううれしいの一言につきます。このような結果がでたのも部員全員の力と指導してくれた先生方のおかげだと思います。これからもこのような成績を修められるよう努力していきたいと思ひます。

### —軟式テニス男子部、初の国際親善試合—

第三回日韓米三国対抗戦のために来日中のアメリカの高校生選抜チームと親善試合を昭和55年8月19日、府立勝山高校コートで行いました。

さすが男子、同じ世代のアメリカの高校生と同じにくい英語力でも結構楽しくかつ真剣に親懇と試合をおこないました。



# ああ、我等学徒動員兵

昭和十六年開校された清友学園高等女学校も、ご多聞に洩れず、学徒動員令が下り、学業を半ばにして、それぞれ各工場へと配属されて行きました。一期生、二期生がそうだったのです。若い卒業生の方達は、こんな先輩もいたのだということを知りなりました。今年も多かったです。今年も卒業式も、これで最後です。この機会にこんな卒業生もあったのだということ、一つの記録として心にとどめて下さるのも意義のある事だと思ひ、特集として企画致しました。

## 学徒動員の

### 思い出

一期生い組 中野 郁子

あれは丁度三十六年前の今頃でございました。三月十三日の深夜より十四日未明にかけての大空襲、私の家、動員先である大阪地方専売局が被災、炎上してしまつたのは……

私達一期生が胸ふくらませて俊徳道の仮校舎に入学した昭和十六年十二月八日に、大東亜戦争が勃発し、一億総動員令が下り、勝つまでは頑張ろうの合言葉で国全体が一丸となって邁進しはじめ、いよいよ学徒出陣がはじまり我々女学生にも勤労働員命令が下り、私

共い組は専売局へ行く事になりました。当時は今の難波の大阪球場にあったのです。赤煉瓦の大きな立派な建物でした。お国の為に戦つて下さっている将兵を、お慰めする為に煙草を一本でも多く作つて戦地へ送る事も銃後を守る国民として大切なお務めでございました。昭和十九年三年生の七月五日、私共もいよいよ直接戦争に参加する様な緊張感に身のひきまされる思いをし乍ら人所に臨みまし

さて仕事の方は何しろ始めて工場という所へ行つたもので、とても珍らしく又煙草が当時すでに、オートメ化してありましたので、大へん面白うございました。私共は巻上げ（煙草を長い長い紙巻きにして、それを適当な長さに切断する所）装置（巻上げから出来上つた煙草を餅筒位の筒に入れて送つてきたのを銘柄を印刷した紙で包み、それを二十個づつポリー函に詰めてコンベアーに流して行く）に別れて配属され、それぞれ女子の工員さんに混じつて学生はダメだと言われぬ様に、とにかく頑張りました。口にくわえる物を作る所なので工場内は、とても美しく整理され、掃除も行き届いておりましたが、何か煙草の細かい粒が部屋の中に舞っていますので空気は悪かったです。でも、まだ

まだ恵まれていた方でして、週に一時、数学等必要な科目だけ授業を教習所でうける事が出来ました。音楽は昼食後に工員さんもしよに歌を唱つて大いに英気を養つたものです。とっても楽しい一時でした。その為に週一回だけ音楽の先生だった永井幸次先生（現大阪音大の初代学長で創立者でもあられた）がゲートルを巻いて来られるのです。幸い専売局は女子の工員さんが殆んどで男子はほんの少しかったです。

当時は食糧不足で、すべて配給制度になっておりましたので、昼食は半分位大豆やトローモロコシの入つた御飯を食べさせてもらい、時にはキナ粉をまぶしたコゲ茶色をしたオダンゴの様なものも下さり、その上掃えりにキンシの煙草を一人一個宛頂く事が出来ました。永井先生の大音楽家の方でも週一日くるのが楽しみだと、フツと洩らされた事もありません。煙草はすでに配給制度になっておりましたので貴重品でした。でも私共のクラスの一人である琴谷倫子様は馴れぬ仕事と空気の悪さで風邪をひかれ肺炎になって十日位休まれただけで七月二十一日に遂に帰らぬ人となってしまわれました。悲しい悲しい思い出となつております。今から思えば私達

は別として、人間としては充実に日々を送つた様に思ひます。むしろ苦しかった事が、今となっては、苦しみの中の楽しさとして胸に深く残つております。ただし私は決して戦争を礼讃している者ではありません。二度としてはならないものです。どうぞ誤解なき様に。今は専売局で仕事を教えて下さつた松下美佐子様も昨年五十三歳で亡くなられましたし、当時の恩師、生田校長、八雲先生、浅井先生、山家先生、永井先生等、皆天上の方となつてしまわれました。年がたつにつれ、御教え頂いた言の葉のありがたさに感無量の日々を過ごしております。

あまりにも平和すぎる今の日本の中で、若者達はあまりにも甘えすぎてはいませんか。賢明なる清友高校卒業生の諸氏、自己の事の一喜一憂する小さな心の人にならず、宇宙の中の一人としての自覚をもつて、大きく大きく邁進して頂き度い事を最後に期待して終らせていただきます。

## 戦争と動員と 入試と空襲

——ごく私的な年表——

一期生組

昭和16年3月 高女一年 12歳

この冬対米戦争始まる

昭和18年春 高女三年 14歳 この

学年から四年で繰上げ卒業が決

定。(この秋大学高専の男子学

生は繰上げ卒業「へ帰らぬ征矢と放たれて」前線に出陣）  
 昭19年7月 高女四年 15歳  
 学徒動員令により、上六の製薬会社東洋新薬に配属される。歌うことだけを青春の楽しみとして一同熟練工となった。  
 昭20年 16歳 この冬大雪続く。  
 1月 入試始まる。受験者にとつてクラス一丸となつての熱い声援は生涯忘れ難いものとなつた。2月半年間に級友三名が病死 痛恨！  
 3月13日 大阪大空襲で級友の半ば罹災。手をつくして友人の消息を求め。死者のなかつたことを喜ぶ。  
 3月31日 学校に帰ることを許され、第一回の卒業式。  
 4月1日から専攻科生として引き続き動員継続。進学者も7月までは止め置き。  
 6月1・7・15日の空襲で殆んどが罹災者となる。工場焼失のため布施工場に移る。ここはかつて一年生を過した、清友の仮校舎であつた。奇縁といふべきか  
 8月15日 終戦により解放される  
 19年7月、学校から切り放され片ときも別れたことのない「い組」と引き裂かれての動員先は上六の製薬会社でした。注射薬と散薬の製造が主な仕事です。先生方のご心労がわかるのは後年のこと。  
 「五尺の生命引つ提げて国の大事に殉ずるは我等学徒の本分ぞ」学

徒動員の歌―といちずに思いこんだ15歳の軍国乙女たちは、不安など防空カバンの底にたたみこみ「同じことなら薬なんぞより直接戦線につながる兵器工場のほうがよいのにとひそかに考えたくらいです。  
 が時局はそんな生優しいものでなく、僅か一年の間に、私共はその後的人生を支配するさまざまな体験をしたわけです。  
**本と授業のことなど**  
 A 一学期の定期試験前だったけど試験も工場まで追つてこなかつたわね。  
 B でもほんとに試験とはそれつきりでお別れになつたのねえ。  
 C 勉強がきらいだつたから、これはいい調子とか……。  
 D はじめのうちには疲れと緊張で勉強のことなんか考えたくなくなつた。  
 I 一度Hさんにお聞きしたかつたの、そんな時期に「勉強したいなあ、本が読みたい」つて云い出さばつたでしょう。  
 I それから、自分達で勉強できる教科って国語しかないわけよ、で、四人ぐらいてお昼休みに輪読を始めたわけ、ところが表紙が緑で目立つてしよう、作業台の下にかくしといたのを西沢先生に見つかつて……。  
 I 私ほね、いらいらしながらも受験勉強に身が入らず、いいかげんな毎日だったの、そこへH

さんが「のどが渴いたから水を飲みたい」というふうなことをおっしゃるわけ、私のは「したい」でなく「せなあかんけど」でしょう。はずかしくて……。あの時、どんな気持ちでしたの？  
 H 言われてみればそんな事もあつたわね、どうしてつてこともないけれど、さあ、何を思つていたのかしら……。きびしくたしなめられたわね。  
 A 国語の本だからよけい悪かつたかな？  
 H 女工さんにも気をつかつて屋上の陰で読んでただけけど。  
 I 四人ともふくれたわよ、おそい反抗期に入つておりましたので……。でもたしなめる先生の二重三重に屈折したお辛さは十分わかつていたつもり。  
 B それでもふふくれたた(大笑い)  
 D 授業が始まったのはいつだったかなあ、週に二回？三回？  
 C 一時間ずつ、国語と数学かなあ。  
 D 全然科目の記憶がない。  
 I 家政があつた、こんな所に割りこまなくつても、とすぐく腹が立つたから覚えてる。  
 A でも、うちの学校つてよくやつて下さつたねえ、動員中勉強した学校は少いみたい。  
 I それなのよ、戦後よその話を聞いて清友の姿勢をほんとに有難いと改めて思つたの。  
 C 規則はあつたんでしようけど実際工場側は受け入れたくない



学徒動員の入社 (一期生)

でしようし。  
 H 先生は工場にずいぶん強い交渉をなさつてみたい。  
 D 会社もできるだけの事はしてくれたい。わりと好意的で  
 A こつちも一生けんめいやつたものね。  
 一同 ほーんとだ、素直にね。  
 さて、動員の記憶の半ばは空襲と分ち難く重なつています。死と背中合せの日々を「みんな、そのうち死ぬんだわ」と思いつつ、かろうじて生きて来ましたが、そのことはほかのクラスの方に書いてもらつて、私たちは手を握つていた友人が目の前で爆死するという悲惨な目にあわず、揃つて生きのびた事を喜び、動員がなければ病んで死ぬこともなかつたであろう数人のことを傷むことにしましう。  
 一期生組 関口、寺島、羽田、長谷川、松谷、矢野  
 昨年七月のことでした。私達い組が動員先で一緒だった現在布施高校一期生の石嶺氏、梅井氏がお見えになり「合同で動員先であつた、近鉄高安工場の見学会をしませんか」ということで、すっかり布施中さん(旧校名の俣呼ばせていただきます)にお膳立てしてもらつて、十月四日35年振りに動員先を訪れました。途端に頭の中のフィルムが逆戻りしました。19年7月、私達い組は担任の錦織先生に引率され、近鉄高安工場に動員されていったのです。軍の仕事と関係しているわけではないのですが、もう青年や働き盛りの男の人達は、すべて戦場へと狩り出され、何かお国の為にとり気が持た私達でも結構役に立つたのですね。女学生は回転機職場の小物部品に加修業務、しばらくは、一週間のうち、二時間だけ、国語と数学の授業もありました。そのうち益々戦争は激しくなり、家を焼け出され、家族を探し求める友もあり、強制疎開で田舎へ転校して行く者もあり、いつの間にか授業も取り止めになって、でも私達は女学生である、お国の為働いてい

### 35年振りに 学徒動員先を 訪ねて

#### 二期生い組

るのだという誇りだけは失なつては  
いませんでした。

終戦の日、悲しかったですね。  
何の為に貴重な歳月を過したのか  
空しさ口惜しきでボロボロ泣  
きました。

合同で見学会をして始めて知っ  
たのですが、空襲のたびに飛び込  
んだ防空壕は、布施中さんが作っ  
て下さったのだそうです。女学生  
の壕掘りとはまさか知らず、完成  
したら僕達が入れるのだと思つて  
いると男子生徒は山の方へ向つて  
逃げろというわけで、すごい女子  
と男子の差別でせ。と聞き、改  
めて35年振りに心からお礼を申し  
上げました。動員中は当時の事  
ですから、男子と女子の職場は別  
でした。35年の歳月は過ぎ去りま  
したものの、同じ工場へ動員され  
いったという親近感、例えば、近  
くに一トン爆弾が落ち、不発に終  
った事がありました。もし爆発し  
ていれば皆一緒に昇天していたの  
ね、等と……。35年の間に布施中  
さんには六名の物故者、清友にも  
二名の物故者を出しています。お  
互い生きていれば、三年後か五年  
後には又お逢い致ししょうとお  
別れました。この日松井(旧姓  
辻)さん九州から飛行機でかけつ  
けてくれました。このように布施  
中さんとは縁があったのです。  
今年度着任された新校長先生は、  
布施高校の教頭先生だったとお聞  
きして、今更に不思議な縁と感

じます。工場の広場で記念撮影し  
ました。布施高校二期生高安隊の  
方達と、清友高校二期生高安隊の  
加者です。この中にはすでに、お  
ちいちゃま、おばあちゃまになっ  
ておられる方もいらつしやいま  
す。清友も古くなつたものではな  
い。



近鉄高安工場に於て(二期生)

### 制服によせて

二期生ろ組 山口 尚子

一、「はばたく清友創立38年のあ  
ゆみ」あの記念写真集を作つて  
下さつてありがとう。懐かしか  
つた。なつかしいと思うのは、  
それ程月日が経つたと言うこと  
です。

一、こんな思い出話が出るのも  
年のせいです。しかし本当？  
なんて言われそうだけど本当の  
話。

一、昭和19年戦争は刻一刻と激し  
さを加えて来ていました。もう  
勝てるのぞみはなかった。一九  
四四年六月一日、学徒動員先の  
ガラス工場で「焼夷弾」という  
砲弾が、避難した防空壕に落ち  
一瞬と言う間が直撃をまぬがれ  
て命からがら壕を飛び出して逃  
げました。どこをどう走つたか  
頭の上を飛行機が無い降りてき  
て機銃掃射をあびせる。まるで  
鷹が獲物を見つけて飛び降りる  
ような鋭敏さでした。機上員の  
姿が影法師に地上に写るのを今  
もはっきりと覚えています。

一、あの軍需工場のあつた場所  
は、城東区今福だつたと思いま  
す。京橋駅から歩いてどの位か  
かつたかな。今一寸歩いてもし  
んどいと自動車に乗りますが、  
ただただお国の為にと下駄をは  
いてよく通つたものと思いま  
す。その下駄も決して簡単に手  
に入るものではなく、お友達が  
大切に保存している貴重品をわ  
けてもらったものなのです。学  
校で着ている制服を着て通学動  
出来る状態の国の状態ではあり  
ませんでした。

一、親達の大切な着物を裁ち、上  
衣とモンペに作り替え名前も決  
戦服と言いました。今の京橋駅  
は立派なビルが建ち、それはソ  
連の国の地下鉄にも勝る長いエ  
スカレーターで、京阪電車への  
連絡をしています。誰が、今日

の日を想像出来たでしょうか。  
37、38年頃の京阪と環状線周辺  
を決戦服のお下げ髪姿が歩いて  
いました。

一、こんな話を始めると際限があ  
りません。この工場でのあつた  
話やら逃げた時の有様が、など  
まだまだ話がつきません。暗い  
非常時下の中で青春を過ごした  
者にとつて、現在とは天国と地  
獄ほどの違いがありますが、何  
よりも誇に思うのはしつかりと  
人間としての道だけは、教えて  
もらったことだと思つていま  
す。先生はこの世で大変尊敬出  
来る偉い人でありました。

一、本校教育の八綱領  
古めかしい言葉が使われていま  
すし、今の時代にはなじめない  
言葉ですが、でも漢方薬のよう  
だと思いませんか。こんなこと  
あんなこと、まだ書いて見たい  
こともあります。読んで下さる  
のでしたら次の機会に許される  
なら書きます。過ぎた38年には  
歴史が一杯、世の中を生きてゆ  
くには、それなりの生き方があ  
ります。

一、制服が変わっても、その服の下  
の心の真実は変わらないと、いつ  
どんな時代でもそうであろうと  
思います。

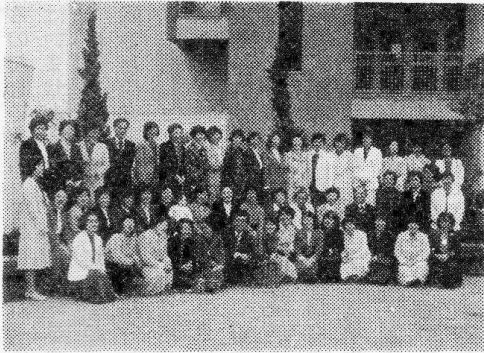
一、制服をぬいで社会に立ち、新  
しい制服を又着ることでしょう  
が、心はほら変らない筈です。

### 母校を守つた三期生

柳生 和子(上田)

太平洋戦争も終盤に近い頃私達  
の上級生(一・二期生)は学徒動  
員としてお国の為の学業を離れ、軍  
関係の仕事に従事され、私達三期  
生も九月より動員される事になつ  
ていました。八月に終戦となりお  
陰様で五年間学園で勉強する事が  
できました。その間学校には兵隊  
が駐屯しており、学業どころか農  
作業の方が多かったように記憶し  
ています。

その年の三月大阪に初の上空襲  
があり、南の繁華街も大半焼け、続  
いて、六月に布施、今里、鶴橋と  
近鉄線を挟んで多くの民家や商店  
が被災に遭いました。その頃の空  
襲は頻繁で警戒警報と同時に空襲  
警報が発令され、昼夜を問わず焼  
夷弾や爆弾が投下され、大阪も大  
部分が焼土と化しました。その六  
月十五日の昼、空襲があり授業中  
止で大阪へ帰る私達は後徳道から  
先、電車が不通のためそこから線  
路添いに布施、今里と歩き高架で  
は黒煙と熱気でとても前へ行く事  
が出来ず、学校へと引き返し一夜  
を教室で明かしました。一番恐ろ  
しかったのは、登校中機銃掃射を  
受け、校門側の防空壕に走り込む  
と同時に校長室が穴だらけにな  
り、九死に一生を得たおもいだつ  
たことが忘れられません。もう二  
度と戦争のない事を祈ります。



母校清友卒業後、二十周年を記念して、昭和五十六年三月二十九日、千塚の新校舎に於いて合同同窓会を行いました。

小西先生、西沢先生、木村先生、藤岡先生、宗平先生、松尾先生、原田彰先生、内田先生、敦先生、ご出席下さり、楽しいひとときをすごしました。やっぱり母校っていいですね。

36年卒  
山添・吉川・小寺・長谷川

# ついでに

**偲び草**

昭和二十七年卒 小山ヒロ子様 (旧姓松本) 昭和五十六年二月十一日死亡されました。

昭和四十二年卒 星川厚子様 昭和五十六年二月十六日死亡されました。

厳寒のさ中、お二人の方が帰らぬ人となりました。誠に悲しい事でございます。皆様と共にご冥福をお祈りいたしますよう。合掌



## 書道部だった方に呼びかけ

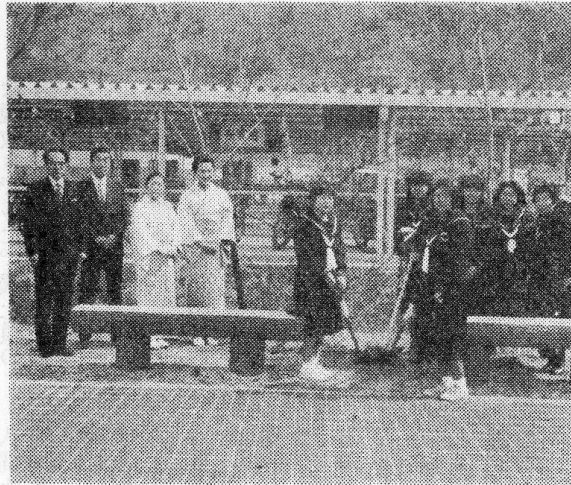
書道部に在籍なさっていた方、一度同窓会を催したいと思えます。下記のいづれかに、住所を御連絡下さい。

- ・原田正憲先生 〒666-01 川西市清和台西2-2-16  
電話0727 (99) 0962
- ・石井慶子 (原納) 〒565 吹田市高野台4-2 D-10-409号  
(39年卒) 電話06 (833) 0810
- ・白井田喜久子 (石本) 〒568 茨木市桑原23の3  
(38年卒) 電話0726 (43) 9797

## 卒業生の近況

私が清友高校を卒業致しまして早7年が過ぎようとしています。去年は長男「豊」が生まれまして何かとめまぐるしい一年でした。少しおちついた所で、学生時代に親しんだバレーボールを始めてみました。新しい学校へも一度うかがいたいものです。

S 49年卒成田美沙子 (旧姓馬場)



56年度卒業生による植樹 (梅)

毎年この占春の園に卒業生によって色々な樹木が植えられます。美しい園が在校生に心の安らぎを与えられれば幸いです。

## 編集後記

☆大変お待たせいたしました。新旧校長移動のため、発行が遅れました。今回は、クラス会だより、卒業生の近況等の原稿が少なかつたので、ページ数が減りました。次回は原稿及び写真等をたくさんお寄せ下さい。

☆今年度は学徒動員を企画しましたが、来年は明るいニュース (子宝自慢等) の企画をすればどうかと話し合っています。

## 同窓会費追徴金について

昨年度総会時に下記の通り御賛同を得ましたのでよろしくお願い致します。

- ☆20年度卒から49年度卒までの方
- ☆追徴会費 ¥3,000 (ご寄附歓迎)
- ☆方 法 郵便局振込み 通信欄に卒業年度・氏名 (旧姓も) を必ず書き添えて下さい。本年度からそれを名簿として会報を発送致します。

50年度卒業生からは、会費¥4,500 納入していただいております。現在はこの会費で会報発行等運営されていますが、非常に苦しいやり繰りの状態です。(郵便料金・印刷料金・紙代等の値上げなどの為) 占春会の益々の繁栄のためよろしくご協力をお願い申し上げます。

